

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	BCPの策定ができておらず、災害時の避難訓練のみを行っている。減災対策と被災後の事業継続の計画ができていない。 法人として委員会が設置され、今年度末までにBCP策定予定。法人のBCPを基にグループホームしはとのBCPを今年度中に作成する。	災害が起きた時の被害を小さくするための事前の予防計画を立て、実践する。 被災時の事業継続計画を策定する。 BCPを元に防災訓練を実施し、あらゆる想定に対応できるようになる。	減災の為にできる事を意見を持ち寄り、危険箇所と対策を決め、実践する。 法人のBCP委員会に出席し、BCPを策定する。 BCPを生かした訓練を計画、実践、評価、改善を行う。	6ヶ月
2	23	入居様がどのように生きて、どのように死んでいきたいかの意向が分かっていない。 自分の人生を考え、伝えることができる状態の入居者様が多いが、日々の希望の聞き取りはしていても、死生観まで話せていない。言える状態の今聞いて次の転居先につなげる必要がある。	病気ケガの入院、食べれなくなった時の点滴や栄養チューブ、心臓が止まった時の心臓マッサージ、どこでどのように死にたいかなどの意向を定期的に確認し書類を作成する。 意向を話せなくなった時、ご家族や次の転居先に本人の意思を伝えられるようにする。	聞き取りの書類を作成する。 担当利用者又は関係のできている職員で4ヶ月に1回程度聞き取りを行い、書類に残す。 ご家族の意向調査は入居時1回のみでの為、定期的に考えて備えていただく為に1年に1回聞き取りを行う。その際、入居者様の1年分の聞き取り内容を伝える。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。